

# 大雪に対する国土交通省緊急発表 令和3年1月11日

- 日本の南を低気圧が通過する影響で、西日本と東日本では11日夜から12日夕方にかけて雪や雨が降り、太平洋側の山地を中心に大雪となり、平地でも積雪となるおそれがあります。予想より降水量が多くなったり、気温が低くなったりした場合は、平地でも大雪となるおそれがあります。
- 今回は、これまで積雪のなかった太平洋側の平地で大雪となるおそれがあり、東京23区でも積雪となる所がある見込みです。過去にも大雪による車両の立ち往生が発生していることから、十分に警戒してください。  
大雪が予想される地域では、不要不急の外出は控えて下さい。
- 一般のドライバーの皆様には、冬タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着の徹底をお願いします。また、降雪状況により、集中除雪による通行止めやチェーン規制を実施する場合があります。広域迂回の実施や、通行ルートの見直しなどのご協力をお願いします。
- 昨年12月や1月7日からの大雪の際には、大型車の立ち往生が主な原因となり、甚大な影響が生じています。国土交通省では、冬タイヤの未装着等により立ち往生した事業用自動車に対し、悪質な事例については、監査をしたうえで、安全管理義務違反として、当該事業者の行政処分を行うこととしています。運送事業者の皆様も、冬タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着を徹底するとともに、タイヤの摩耗劣化にも十分に注意して下さい。
- 大雪が予想される地域では、公共交通機関においても、大規模かつ長時間にわたる遅延や運休が発生するおそれがあります。
- 最新の気象情報や交通情報等に留意し、外出が必要な場合には、十分な時間的余裕を持って行動いただくようお願いします。

## 【1. 今後の気象の見通し】

11日11時時点

<注意が必要な時間帯> 降雪のおそれ

	11日			12日		
	朝	昼	夜	朝	昼	夜
関東地方				←→		
東海地方					←→	
近畿地方				←→		
中国地方				←→		
四国地方				←→		
九州北部地方				←→		
九州南部地方				←→		

大雪の見通し (単位センチ)

地域	12日12時までの24時間降雪量	13日12時までの24時間降雪量
関東地方	10	5~10
東海地方	10	10~20
近畿地方	20	-
中国地方	15	-
四国地方	20	-
九州北部地方	5	-
九州南部	10	-

※各地の気象台が発表する気象情報等に留意ください。  
最新の気象情報については、気象庁HPをご覧ください。  
(<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

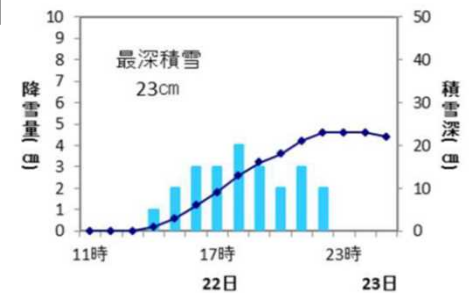
## 【2. 過去の大雪における立ち往生事例】

平成30年1月22日から23日にかけての首都圏での大雪

<大雪のため、首都高速道路の約7割が通行止め>

○平成30年1月22日(月)から23日(火)にかけて、低気圧が本州の南海上を急速に発達しながら東北東に進んだため、首都圏を中心に広い範囲で大雪となり、東京都心の積雪量は最大で23cmを観測しました。

○首都高速道路では、1月22日(月)14時より通行止めを開始し、総延長320kmのうち約7割が通行止めとなり、全面通行再開までに4日間を要しました。また中央環状線では3箇所10時間を超える大規模な車両滞留が発生しました。



東京都千代田区の降雪量の推移  
<平成30年1月22日から23日>



首都高3号渋谷線の状況  
<平成30年1月22日 20時頃>

## 【3. 整備局など現場の対応状況】

○「大型車等の立ち往生が発生」または「大規模な立ち往生の発生のおそれがある場合」には、予防的な通行止めを行い、集中的な除雪作業を実施します。